

平成19年度第2回
宮崎県放課後子どもプラン推進委員会議事録要旨

- 1 開催日時 : 平成19年10月15日(月) 13時30分から15時30分まで
- 2 会場 : 県庁会議室
- 3 出席者 : 委員11名(2名欠席)

4 概要

(1) 説明(事務局から)

- 放課後子どもプラン及び放課後子ども教室推進事業の進捗状況について
- 放課後児童健全育成事業の進捗状況について

(2) 実践発表

- NPO法人「のびーの宮崎」

宮崎市から両事業の委託を受け、宮崎市立広瀬北小学校内において連携して実施している。実施に当たっては、校区内にある地域づくり協議会と連携し、地域と一体となって取り組んでいる。

- 新富町「あおぞら」

新富町上新田地区において、地区公民館を活動拠点にして子ども教室を実施している。規律を重視するとともに、学習や遊びを通して、地域の方々との交流を図ることを大切にしている。

(3) 両事業の連携の在り方及び安心・安全な居場所づくりの方策についての協議

注) 以下、○は委員の発言

- 放課後子ども教室の活動に児童クラブが参加するなど、相互に連携して活動を行うことが今後増えてくることが予想される。
- 異年齢集団の中で、子どものリーダーを育てることが大切である。
- 安全面の配慮が大切である。教室内でルールを作るなど、指導者間で十分話し合う必要がある。
- 障害のある児童の受け入れを含めた支援体制を整備していく必要がある。
- 安全対策が重要である。子どもの目線で安全対策マニュアルを作ることが大切である。また、子どもたちと一緒にマニュアルを作ることも考えていいのではないか。
- 幼稚園や小学校に学校経営計画があるように、市町村ごと、教室・クラブごとに運営方針を決めるといいのではないか。それにより、指導方針が明確化され、徹底が図られるのではないか。
- それぞれの教室・クラブごとに運営方針を定めるとともに、大人だけではなく、子どものニーズを取り入れたメニューを開発することが大切である。また、子ども自身が考える、行動するような仕掛けも大切である。さらに、取組を地域に認めてもらうことも大切である。